

平成29年度事業計画

本県も震災から6年を迎えましたが、いぜんとして多くの方々が県内外に避難し、避難困難区域が解除されても、未だ生活環境は確保されない状態が続いています。

昨年は、震災から多くの方方にご支援をいただいた感謝の気持ちと、私たちの元気を発信する福島の復興を旗印とした第5回北海道・東北キャンポリーが日本ボーイスカウトの原点ともいべき聖地天神浜で開催されました。この大会は、震災から多くの方方にご支援をいただいた感謝の気持ちと、私たちの元気を発信するいい機会となったことは紛れもない事実ですし、開催を危ぶまれた環境下であって予想と思惑を超える多数の方々に参加していただき、震災による原発事故以後の福島をよく理解していただけたものと感じております。

この大会に参加した本県スカウトは少なかったものの、参加したスカウトは多くの方々の交流を満喫し、それぞれが大会をとおして大きな気持ちを持ってたことと、震災からのご支援をいただいた感謝の気持ちと、私たちの元気を発信するいい機会となりました。

この成功に驕らず、ここから新たな出発として活動に取り組んでいかなければと、身を締め、事業に取り組んでまいります。

私たちのスカウト活動とは、福島の子どもたちが元気に野外で活動することができ、そしてこの活動が多くの青少年に理解され、その結果社会に貢献できる人材を育ててゆく教育活動としての使命を果たすことを一貫しての目標とすすめてまいります。

そのためには、よりよいプログラムの確立と指導者のスキルアップも不可欠ですし、加盟員増強のためには、多くの先達が遺してくれた、あの燃えるような情熱と、揺るぎないスカウト精神を思い出す必要があります。

このために加盟員一丸となって活動に取り組んでまいりましょう。

このことに結び付くよう、新コミッショナーをとおしてしっかりと実践できるよう活発に活動を展開してまいりますし、昨年度から組織拡充強化月間を制定し、スカウト活動の普及を図り、加盟登録増員の普及に努めておりますが、継続して運動を展開してまいります。

今年度は、維持財団法人解散から新たな維持会組織を特別委員会の活動から発足をむかえることとなり、今後の支援財政の確保に取り組んでまいります。

実のある県連組織の運営のためには、今後もそれぞれの役務を理解し、業務運営を積極的にすすめていくことが今後の最も重要な課題です。

日本連盟の教育指針と重ねて当連盟の重点施策が的確に伝達され、よりよい県連の運営が確立されますように、なお一層のご協力をお願いいたします。

<基本方針> 「活動的で自立したスカウトを育てよう」

平成34年(2022年)に日本連盟創立100周年を迎えるにあたり、運動の根幹である青少年の育成について、改めて本連盟は、冒険的で楽しい野外活動を行いながら、奉仕活動に励む「活動的で自立したスカウトを育てる」ことを目指します。

<重点目標>

地区、団並びに指導者への支援、地域への活動支援を重要課題として、人材の養成と活用に努め、適正な予算運用と確保を図り、よりよい県連運営に寄与することはもちろん私たちのスカウト活動を多くの方々に理解していただくこと並びに組織拡充を目指して地域社会との連携の強化を広報的な視点を踏まえて戦略的に展開する。

<責務>

理事長が掲げる重点目標を実現するため、重点施策を基本路線として、適正かつ活発的な運営に努め、組織の構築と団支援に当たることを役員の方々の責務とする。

<重点施策>

- 地区、団、隊への支援体制とスカウト増員への協働体制確立
- スキルアップを課題とした資質向上推進
- 地域に密着した事業支援の推進と広報活動
- 組織拡充を目指した強化月間の制定と活動
- 財政確保の推進と予算の有効利用
- 理事・委員会役員の役務理解
- コミッショナーグループとトレーニングチームの組織確立と運営スタッフ養成
- 明確な企画書、計画書、報告書の運用と事業運営
- 高萩ジャンボレット・17NSJの参加促進とブロック間の協力体制の確立及び交流
- 13NA開催に伴う日本連盟・ブロック間との協力体制の確立